

# 中央区平和展

～ 永遠の平和を願って～



中央区平和都市宣言

昭和六十三年三月十四日 議決第一十五号  
昭和六十三年三月十五日 告示第二十六号

いまいとたちとまり

平和の尊さをみつめよう

さびやかな幸せも

こよなき繁栄も

平和の光が消えたなら

すべてが失われる

私たちの手にもこの輝きを

明日の世代に伝えよう

一九八八年三月一五日

この日 私たちは

永遠の平和を願い

中央区の平和都市で

あることを宣言する

銀座二、三丁目 銀座通りを歩く罹災者（撮影：石川光陽）

## 開催期間

令和6年2月27日火から

3月12日火までの各施設の開庁時間

（日本橋・月島区民センターは午後7時まで。最終日は午後5時15分まで）

## 会場

中央区役所本庁舎1階 ロビー

日本橋区民センター1階 エントランスホール

月島区民センター1階 ロビー

## 「中央区平和展」の開催にあたって

永遠の平和は全人類共通の願いです。平和こそ人類繁栄の礎であり、すべての英知と力を結集して築き上げるかけがえのないものであります。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻や、イスラエル・ガザ地区での武力衝突など、今もなお世界各地で紛争やテロが発生し、多くの尊い命が無残にも奪われている痛ましい現実があることに、深い悲しみと強い憤りを覚えます。このような深刻な状況にある今こそ、国や人種、宗教の違いを乗り越えて協力し合い、一日も早くすべての人々が安心して暮らせる世界平和の実現に向けてより一層取り組むことが何よりも大切であります。

本区は昭和63年（1988年）3月15日の「中央区平和都市宣言」以来、この「平和展」をはじめ、「小・中学校巡回平和展」や、戦災に関する記録・資料をいつでも誰でもご覧いただけるホームページ「平和祈念バーチャルミュージアム」、「平和の都市（まち）の楽しい集い」などの平和事業を積極的に展開してまいりました。戦後80年近くが経過し、先の大戦を知る世代が年々減少しております。あの忌まわしい戦争の惨禍を再び繰り返さないために、次の世代にしっかりと語り継ぐことは今を生きる私たちに課せられた大きな使命です。

「中央区平和展」は、本区における空襲被害や学童疎開、戦中・戦後の生活など、当時の状況を物語る写真や資料を公開展示するとともに、戦災体験者の証言等を上映することにより、戦争という悲惨な歴史を風化させることなく広く伝えようとするものです。この展示を通じ、あらためて平和の尊さ・大切さを考え、見つめ直すきっかけとなることを切に願っております。

貴重な写真や資料をご提供いただきました多くの方々に心から御礼申し上げます。

令和6年2月

中央区長 山本 泰人

# 永遠の平和……。それは人類共通の願いです。

## 写真パネル等展示リスト

### 中央区役所本庁舎 1階ロビー

資料名	提供者	資料名	提供者
戦前の数寄屋橋付近	撮影 石川光陽	第二次大戦（空襲・東京）東京・銀座の焼け跡 - 2	提供 毎日新聞社
戦前の銀座四丁目交番付近		第二次大戦（空襲・東京）東京・銀座の焼け跡 - 4	
警視庁屋上から捉えた銀座空襲着弾の瞬間		第二次大戦（空襲・東京）甚大な被害を受けた東京駅の駅舎（1）	
数寄屋橋の爆撃現場		銀座で防空訓練	
炎上する銀座四丁目鳩居堂付近		防空演習・日比谷公園で消火訓練の主婦たち	
空襲で焼けた歌舞伎座		若い女性の銀ぶらをとがめる刑事	
地下鉄銀座駅出入口の埋没者を救助する警視庁警備隊		夜間空襲に備え避難の白線誘導標識	
泰明国民学校にも直撃弾		金属回収で忠犬ハチ公も供出	
復旧に手間取る銀座の街		鉄不足で登場した瀬戸物製の代用ポスト S 14	
銀座二、三丁目 銀座通りを歩く罹災者		焼け跡 銀座四丁目	
消火訓練	銀座の焼け跡ではヤミ市が開店	提供 共同通信社	
玉音放送の翌日、皇居前広場に集まる人々	闇市の並ぶ中、靴磨きをする少年たち		
MPが交通整理をする銀座四丁目交差点	被災孤児救援募金・銀座で募金の女学生		
B 29 焼夷弾投下	東京・銀座通りを行進する九七式中戦車 天長節を祝って		
銀座松屋前から服部時計店方面を望む	愛馬の日 銀座を兵隊を乗せて行進する軍馬		
B 29 の猛爆で燃える銀座を数寄屋橋から見る	昭和 19 年 8 月、銀座通りで行われた防空退避訓練		
銀座仙山閣前の消火活動	隣組の女性たちによる銀座裏の防空演習		
東京芝浦電気銀座配給所周辺の消火活動	京橋一丁目の隣組の防空演習		
銀座教文館裏でバケツリレーをする人々	疎開地へ出発する児童たち／昭和 19 年 8 月		
銀座服部時計店の裏でドラム缶に水を集める人々	国民学校の児童たち／昭和 18 年 4 月		
ドラム缶で水をすくい、バケツでの消火活動 銀座で	千代田国民学校の児童が疎開した円照寺学寮	提供 池田勤助	
帝都近傍図（焼失区域図）	疎開先の学寮でくつろぐ児童たち	提供 西山隆	
M69 油脂焼夷弾	—	提供 河合徳司	

### 日本橋区民センター 1階エントランスホール

資料名	提供者	資料名	提供者
戦前の日本橋	撮影 石川光陽	昭和 16 年 12 月 8 日、銀座で宣戦布告のラジオニュースに聞き入る市民たち	提供 共同通信社
初の夜間爆撃後の日本橋室町付近惨状		昭和 17 年 2 月、衣料切符で買い物をする女性たち／日本橋三越	
S13 年・賑わう日本橋の全景	提供 毎日新聞社	昭和 16 年 12 月 19 日に発表された決戦下の婦人標準服	提供 国立公文書館
空襲・爆撃で燃える日本橋付近		空襲に対する国民の態度	
米英に対し宣戦布告を報ずる本誌を見る読者		総動員体制の一環として戦時中は国防婦人会が活躍した	
白木屋にさげられた戦時色スローガン		女子警防団	
日本橋少年団の銃剣術訓練		学童疎開	
戦時中・わら人形の仮想敵を攻撃する学童		惨禍のあと 一浜町河岸	
日本橋 終戦直後の両岸は瓦礫の山		埼玉県大里郡での泰明国民学校児童	
内部が焼け落ちた歌舞伎座		—	
空襲で灰燼に帰した馬喰町付近		中央区（旧日本橋区・京橋区）の空襲被害概要	
立ち退き先を記した木札／日本橋横山町		日本橋区詳細図	
昭和 20 年 3 月 10 日東京大空襲直後の旧日本橋区両国一帯	提供 西山隆	—	
焼夷弾で焼き尽くされた東京大空襲（昭和 20 年 3 月 10 日）の惨状	提供 共同通信社	—	

### 月島区民センター 1階ロビー

資料名	提供者	資料名	提供者
昭和 19 年 12 月中央区部米軍 B 29 偵察写真（大空襲前）	提供（一財）日本地図センター	バケツで懸命に消火活動にあたる女性 銀座で	提供 東京大空襲・被災資料センター
昭和 20 年 4 月中央区部米軍 B 29 偵察写真	提供 毎日新聞社	B 29 東京空襲	着弾した帝国ホテル裏防空壕あと
B 29 東京空襲		元旦早々焼け出された人々	
昭和通りに作った農園で耕す人々		ちゃぶ台を囲む一家	
魚は隣組単位の登録配給制となる、店先で		緊急集合防護配備の光景	
国民学校の学童疎開 出発する子どもたちと残る子どもたち		民家の屋根に設置された対空監視所	
「月島第 3 小」 やっと接収解除 机や椅子を担ぎ母校に帰る児童ら		重爆撃機の行動半径	
第二次大戦（空襲・東京）東京・銀座の焼け跡 - 3		都市空襲の脅威	
第二次大戦（空襲・東京）東京・銀座の焼け跡 - 6		戦禍が拡大し、疎開学寮で授業を行うようになった	
終戦・バケツを持って炭の配給を受ける主婦		父兄奉仕隊の活躍（児童の疎開地にて）	
日米開戦 陸軍省前の万歳する男子学生		—	提供 河合徳司

（提供者：敬称略・順不同）

## 物品資料リスト

中央区役所本庁舎 1階ロビーに展示しています。

資料名	提供者	資料名	提供者	資料名	提供者
市民防空訓練通知	郷土資料館所蔵	墨ぬり教科書 （物象 4 第一類 高等学校四年制用）	中央区所蔵	ポスター 護れ帝都備へよ空に	中央区所蔵
湯たんぼ		陶製キセル		敵機爆音集第一輯 SP 盤 4 枚組 昭和 18 年	
軍用ヘルメット		砂袋一括		戦時紙芝居 「防空必携我等の防空第二部警戒・対策編」	
通知文「町会員各位へ急告“空襲に對する我等の心構へ”」	中央区所蔵	愛国イロハカルタ	—	伝単	—
たすき「防火担任者」	—	敵陣突破パズルゲーム	—	M69 油脂焼夷弾	—
—	—	写真（戦死者に対する区民葬）	—	防毒マスク	—

○展示内容は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

（提供者：敬称略・順不同）

### DVD 上映

各会場で被災体験者の証言や平和アニメなどの DVD を上映します。

### 資料の収集

区では、平和関係資料の収集および保存を行っています。  
戦時下を物語る写真や物品がありましたら、提供のご協力をお願いします。

問合せ先：区民部地域振興課地域事業係 TEL：3546-5339